

「看取りに関する事例」タイムスケジュール

2-1

時間	修得目標	講義のポイント	ミニワークテーマ	ミニワークのポイント	
10:00~10:05	導入	研修記録シートの目標を確認 アイスブレイク			
10:05~12:00 (115分) (適宜休憩を含)	<p>第1節 看取りにおける介護支援専門員の役割や適切な姿勢</p> <p>第2節 段階的な関わりの変化</p> <p>第3節 在宅生活の支援において起こりやすい課題</p>	<p>看取りにおける介護支援専門員の役割や適切な姿勢について説明できる</p> <p>看取りに向けた利用者及び家族との段階的な関わりの変化について説明できる</p> <p>看取りのケースにおいて、在宅生活の支援において起こりやすい課題について説明できる</p>	<p>1. 看取りに関する事例を学ぶ意味</p> <p>2. 利用者・家族の不安</p> <p>1. 老いと看取りの理解</p> <p>2. 最終段階の3つの軌道</p> <p>1. 気持ちの揺らぎ</p> <p>2. 症状が安定している時期（入院時等）</p> <p>3. ADLが低下し、苦痛が出現する時期</p> <p>4. 死期が近づいていることがわかる時期</p> <p>5. 死期までが、2～3日の時期</p>	<p>①看取りの経験はありますか？</p> <p>②職場で、看取りについて話し合ったことはありますか？</p> <p>③がんの軌道の特徴は？</p> <p>④内臓疾患の軌道の特徴は？</p> <p>⑤認知症や脳血管疾患、老衰の軌道の特徴は？</p> <p>⑥本人・家族の意向はどのように確認するか？</p> <p>⑦在宅で看取りを実現する条件はなんですか？</p>	
12:00~13:00 (60分)	休憩				

※ミニワークについては、適宜実施するものとする

「看取りに関する事例」タイムスケジュール

2-2

時間	修得目標	講義のポイント	ミニワークテーマ	ミニワークのポイント
13:00~13:35 (35分)  第4節 看取りに関する各種サービスの利用方法と多職種連携・協働のポイント	看取りに関する各種サービス等の活用方法や医療職をはじめとする多職種との連携・協働のポイントについて説明できる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多職種連携</li> <li>2. ケアマネジメントとチームアプローチ</li> <li>3. 看取りの時期にある利用者の状態像</li> </ol>	⑧なぜ、看取りにはチームケアが必要なのか？	理解度を測る
13:35~16:10 (155分) (適宜休憩を含)  第5節 看取りの特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法	看取りの特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実践できる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護支援専門員の視点</li> <li>2. 看取りのケアマネジメントプロセス</li> </ol>	演習 ①病状の変化への対応 ②院内チームと在宅チームの連携 ③家族に対する精神的ケアの方法 ④ケアチームに対する精神的ケアの方法 演習の時間配分 個人ワーク 15分 グループワーク 10分 グループ発表 10分	
16:10~16:20 (10分)  第6節 継続的学習の必要性和具体的な学習方法	継続学習の必要性和、具体的な学習方法を述べることができる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. デスカンファレンス</li> <li>2. 看取り体制の整備や職員教育</li> <li>3. 看取りができる地域作り</li> </ol>		
16:20~16:30 (10分)	まとめ 振り返り	全体を振り返り、ポイントについて講義		

※ミニワークについては、適宜実施するものとする

**演習** 病状の変化への対応

利用者の病状を知るためには、どのような方法で確認しますか？

**演習** 院内チームと在宅チームの連携

橋本昌子さんの退院、在宅での生活のスタートに向けて、院内チームと在宅チームの間で情報が共有されています。どのような情報共有がなされているのでしょうか？

**演習** 家族に対する精神的ケアの方法

家族の心の揺らぎは、どのような状況でおこるのか考えてみましょう。

家族に対する精神的ケアは、どのように行ったらいいのか考えてみましょう。

利用者が亡くなった後の、遺族とのかかわり方を考えてみましょう。

**演習** ケアチームに対する精神的ケアの方法

**看取りの経験を話し合しましょう。**

**職場での看取りの勉強会の開催状況について話し合しましょう。**

**【まとめ】**